|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（１）大雨による被害** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ① | 大雨により「洪水」が発生する危険があることを知る。 | 1) | 洪水とは，河川を流れる水の量が異常に増加し，河川敷に溢れたり，堤防の決壊や河川の水が堤防を越えて起こる災害。 | ○ | 教・行 | ・[大雨や台風に備えて](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/ooametyphoon/index.html)(気象庁)・[集中豪雨への備え](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/gouu/)(気象庁)・[局地的大雨から身を守るために](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/kyokuchiame/index.html)　　(気象庁) ・[天気が急に変わったらすぐに避難しよう。](http://www.jma-net.go.jp/kumagaya/education/index.html)(気象庁・熊谷地方気象台)・[リ－フレット](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nowcast3/index.html)[「竜巻・雷・強い雨　－ナウキャストの利用と防災－」](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nowcast3/index.html)　(気象庁) |
| 2) | 河川の洪水は，自分のいる所で雨が降らなくても，川の上流部で降った大雨でも起こる。 | ○ | 教・行 |
| 3) | 長い川（北上川や阿武隈川など）では，上流部で降った大雨が半日から1日程度たってから下流部の水の量を増やすことになる。 | ○ | 教・行 |
| 4) | 堤防が整備されても記録的な大雨により洪水が発生することもある。 | ○ | 教・行 |
| ② | 大雨により「浸水」が発生する危険があることを知る。　 | 1) | 浸水とは，道路や家屋が水に浸かること。 | ○ | 教・行 |
| 2) | 落ちた小枝や木の葉が排水溝をふさぎ，浸水することがある。 | ○ | 教・行 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（３）****局地的大雨の知識** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ① | 局地的大雨により，河川や水の集まりやすい場所では急な増水が発生し，短時間で非常に危険な状態になることを知る。 | 1) | 河川が急に増水する。 | ○ | 教・行 | ・[局地的大雨から身を守るために](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/kyokuchiame/index.html)(気象庁) ・[天気が急に変わったらすぐに避難しよう。](http://www.jma-net.go.jp/kumagaya/education/index.html)(気象庁・熊谷地方気象台)・[リ－フレット「竜巻・雷・強い雨－ナウキャストの利用と防災－」](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nowcast3/index.html)(気象庁) |
| ② | 局地的大雨から危険を回避する方法を知る。 | 2) | 頭の上が急に暗くなり，雨が降り始めたらすぐに安全な場所に避難する。 | ○ | 教・行 |
| ③ | 増水した場合は，素早く安全な場所に避難することが何より大切であることを知る。 | 1) | 局地的大雨では，増水するスピードが非常に速いので，危険を察知した場合は直ちに避難する。 | ○ | 教・行 |
| 2) | 一旦増水すると，膝の高さくらいの深さでも立っていられなくなる。 | ○ | 教・行 |
| 3) | 局地的大雨の時は，川から離れ高いところに避難する。雨宿りするために橋桁の下に避難してはいけない。 | ○ | 教・行 |

指導時期：**○**機会を捉えて指導する時期，**→**継続指導の時期，**◎**重点的に指導する時期，**◇**再確認させる時期

指導場面：**教**＝教科等，**H**＝HR等，**行**＝学校行事，**部**＝部活動等，**日**＝日常

凡

例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（５）風の被害に備えて** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ② | 突風により，突然思わぬ被害が出ることがあることを知る。 | 1) | 突風により運動会の屋外テントやイベントのテントがとばされ，非常に危険である。 | ○ | 教 | ・[竜巻から身を守る　竜巻注意情報](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tatumaki/)　　(気象庁)・[竜巻から身を守る！－自分や周りの人の安全を守るために－](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tatsumaki2012/index.html)(気象庁) |
| 2) | 学校のグランドでは突風でサッカーゴールや遊具が倒れることもある。 | ○ | 教 |
| ③ | 激しい雷が鳴っている時は，竜巻などの激しい突風が吹くことがあることを知る。 | 1) | 竜巻が発生すると，電柱や大木が倒壊したり，車や屋根が飛ぶ等の被害が発生するのできわめて危険である。 | ○ | 教・行 |
| 3) | 気象台から竜巻注意情報が発表され，発達した雷雲の近付くきざしがある場合にはただちに頑丈な建物に避難する。 | ○ | 教・行 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（６）大雪に備えて** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ① | 大雪により発生する危険について知る。 | 3) | 除雪作業中に屋根から転落してしまったり，屋根から落ちた雪の下敷きになったりする死傷事故が多数発生している。また，つららで怪我をしないように注意する。 | ○ | 教・行 |  |
| 5) | 道路に雪が積もっている時は，タイヤが滑り，車が止まりにくい。 | → | 教・行 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（７）****落雷の被害に備えて** | 指導時期等 | 主な指導場面 | 指導資料 |
| No | 必ず身に付けさせたい事項 | 具体の指導内容 |
| ① | 雷により死傷事故が発生していることを知る。 | 1) | 雷は危険である。 | → | 教・行 | ・[落雷から身を守るには](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/toppuu/thunder4-3.html)(気象庁)・[リ－フレット　「竜巻・雷・強い](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nowcast3/index.html)[雨－ナウキャス](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nowcast3/index.html)[の利用と防災－」](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nowcast3/index.html)(気象庁)・[雷とは](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/toppuu/thunder1-0.html)(気象庁) |
| ② | 雷が落ちやすい危険な場所や条件があることを知る。 | 1) | 雷が落ちやすいところとして，グラウンド，テニスコート，ゴルフ場，屋外プール，海などがある。 | ○ | 教・行 |
| 2) | 遠くの方で雷が聞こえていても，頭の上に雷雲がある時は，自分に落雷する可能性がある。 | → | 教・行 |
| 3) | 傘には落雷しやすいので使わない。 | → | 教・行 |
| 4) | 大きな木には落雷しやすいので避難しない。 | → | 教・行 |
| ③ | 雷からの避難に適切な場所を知る。 | 1) | 外にいて雷鳴が少しでも聞こえたら安全な建物等に避難する。 | → | 教・行 |

指導時期：**○**機会を捉えて指導する時期，**→**継続指導の時期，**◎**重点的に指導する時期，**◇**再確認させる時期

指導場面：**教**＝教科等，**H**＝HR等，**行**＝学校行事，**部**＝部活動等，**日**＝日常

凡

例

指導時期：**○**機会を捉えて指導する時期，**→**継続指導の時期，**◎**重点的に指導する時期，**◇**再確認させる時期

指導場面：**教**＝教科等，**H**＝HR等，**行**＝学校行事，**部**＝部活動等，**日**＝日常

凡

例